

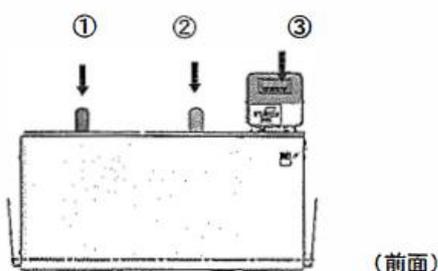
機械器具 17 医療用消毒器
一般医療機器 温水低温殺菌装置 JMDNコード 36910000

母乳低温殺菌装置 T30

【形状・構造及び原理】

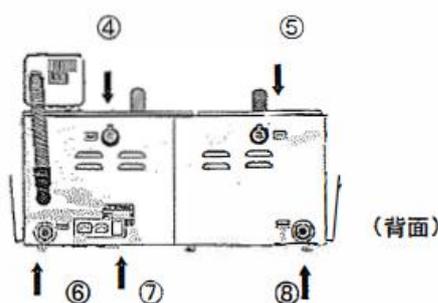
1. 形状・構造

本装置は、温水(62.5-63℃)を使用して母乳の殺菌を行います。殺菌終了後に、冷水(4℃)を使用して母乳を素早く冷却します。本装置は、温水用・冷水用の2つのチャンバーからなります。母乳の入ったボトルを入れたバスケットを温水用チャンバーに沈め、殺菌処理を行います。殺菌サイクルが終了した後、バスケットを冷水用チャンバーに手動で移し変えて母乳を冷却します。



(前面)

- ① 温水チャンバー
- ② 冷水チャンバー
- ③ コントローラー



(背面)

- ④ 冷水用入水コック
- ⑤ 温水用入水コック
- ⑥ 冷水用排水コック
- ⑦ 電源スイッチ
- ⑧ 温水用排水コック

2. 原理

低温長時間にて殺菌処理を行う。

加熱温度: 62.5-63℃、時間: 30分

【使用目的又は効果】

本装置は、62.5-63.0℃で30分間加熱処理を行い、母乳中の成分を破壊せずに殺菌を行う。

【使用方法等】

1. 使用環境条件

環境: 動作時: 温度+15℃~+35℃
湿度 10~80%(結露なきこと)
気圧 3,657.60 m(最大)

2. 操作方法

- ① 温水用・冷水用の両方のチャンバーに給水を行います。チャンバーの内側にボトルサイズごとの水位が記載されていますので、その水位を守って給水してください。
- ② 殺菌装置と冷却装置本体の背面にある電源スイッチをOnにして、電源を入れます。コントローラーの ① ボタンを長押しすると、チャンバー内の加熱と冷却が開始します。コントローラーの画面に、「HEAT」の文字と水温が交互に表示されます。
- ③ 規定温度に達するとアラームが鳴り、コントローラーの画面に「STBY」の文字が表示されます。アラームを止めるには、 ▼ ボタンをアラームが停止するまで長押しします。
- ④ バスケットにボトルおよびプローブボトルを配置します。プローブボトルには母乳と同じ温度の水を入れ、バスケットの中央に配置します。
- ⑤ ボトルおよびプローブボトルの配置されたバスケットを温水用チャンバーに入れます。付属の蓋をチャンバーに設置します。
※低温殺菌対象のボトルが11本未満のときは、空のボトルに水を入れてバスケットに配置してください。
- ⑥ set ボタンを長押しして、サイクルを開始します。(STBYが表示されているときは温度表示されません)
- ⑦ 「PAST」の文字が表示されると、殺菌サイクルが進行中であることを示します。この時、「PAST」の文字とタンク温度の表示が交互に繰り返されます。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ⑧ 約 60 分後(昇温・殺菌処理時間を含む)にブザーが鳴り、「OVER」と表示されるとサイクルが終了したことを示します。ブザーが鳴ったら、蓋を外してバスケットを温水用チャンバーから取り出して、そのまますぐに冷水用チャンバーに入れて蓋をします。
- ⑨ 再び ボタンを長押しして、冷却サイクルを開始します。この時も「COOL」の文字とチャンバー内の温度の表示が交互に繰り返されます。
- ⑩ ブザーが鳴って画面に「OVER」と表示されたら、 ボタンを長押ししてブザーを止め、蓋を外してバスケットを取り出します。

【使用上の注意】

・重要な基本的注意

- 1) ボトルの高さが変わると、水位の調整が必要になる場合があります。専用ボトルを使用してください。
- 2) 配管によじれ、裂け目または何らかの損傷がないことを確認してください。排水口の高さは、床から 40cm 以内とします。
- 3) 温水用チャンバーの水は熱くなっています。蓋およびバスケットは注意して取り扱ってください。
- 4) 装置を使用していない時は、ほこりや空中のごみがチャンバー内に入らないように、蓋を設置しておくことが推奨されます。

【保管方法及び有効期間等】

使用しない場合

- ① チャンバーの排水を行い、完全に乾かします。本体のロックが閉じていることを確認し、給水バルブを閉じてください。
- ② 殺菌装置、冷却装置本体の電源スイッチを OFF にしてください。

【保守・点検に係わる事項】

付属のマニュアルを参考に行ってください。

・作業終了後の洗浄について

- ① 殺菌装置・冷却装置本体の電源をオフにしてから、温水用・冷水用チャンバーの排水を行います。冷却コイルに氷が付着している場合は、氷の上に温水を注ぎ、氷をすべて取り除きます。その後、冷水用チャンバー全体を温水で一度流します。サイクル終了後は、両チャンバーを清潔な布で拭き取ります。この際、チャンバーに水分が残っていない状態にしてください。
- ② 使用中にミルクがこぼれていた場合、中性洗剤を使って清掃し、その後よくすすぎます。家庭用のシンク洗浄液またはホスピタルグレード消毒剤、汚染除去洗浄剤を使用してください。
- ③ 48 時間を超えて低温殺菌装置を使用しない時は、アルコールワイプを使用した後によく乾燥させることをお勧めします。その際、刺激の強い化学薬品は使用しないでください。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称: B&F 株式会社

製造業者

名 称: メディケア コルゲート エルティーデイ